



パートナー紹介 パートナー紹介

みんなで創るみんなの県土！ 社会資本の整備と活用を通じた地域づくりを！

県土整備部は、地域、NPO、市町村など様々な県民の方々との対話を重ね、皆さんの知恵と工夫を集めて、事業を進めようとしています。

このコーナーでは、NPOなど行政にはない得意分野を持った方々の活動や、地域の実情に合わせて独自に取り組んでいる地域や市町村の取り組みを紹介します。

第2回目は、道路愛護会と協働で道路整備している陸前高田市の取り組みを紹介します。

陸前高田市 市民による市道の整備

☆ 団体概要

道路愛護会とは、陸前高田市内の道路、橋、側溝等の維持および良好な管理をするために昭和34年3月から設立されました。

道路愛護会は行政区単位で組織されており全123組織

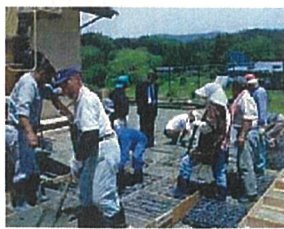
全道路愛護会員数は7977人

☆ 紹介する活動概要（協働）

陸前高田市は、地域住民により設立された道路愛護会が自ら市道を改良する場合、事業費の半額（限度額50万円）を助成する制度を平成14年から始めています。その制度を活用し、平成18年度は11件(497.8万円)の市道整備が行われました。

今回はその中から、気仙大工の技術を活かした取り組みをご紹介します！

地域に住む50代後半から75歳までの元型枠大工、元左官の方が中心となり、気仙大工の技術を生かして側溝蓋を210個(0.60×0.60×0.12)作成・設置しました。



本格的
です



お疲れ様
でした